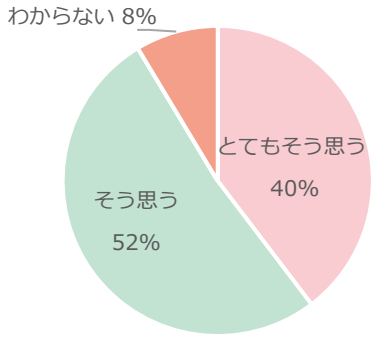
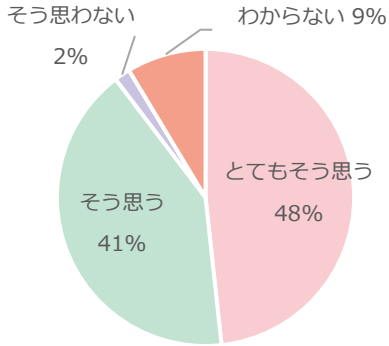
Ⅰ　保育・教育活動について

1.全体的な実施の状況

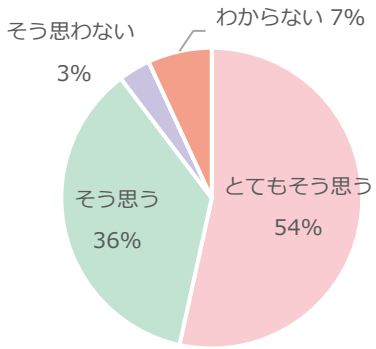
「やさしく思いやりのある子ども」を達成している



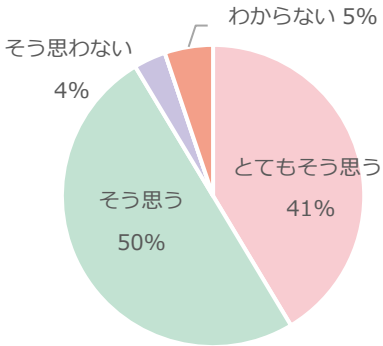
「自分らしく輝いている子ども」を達成している



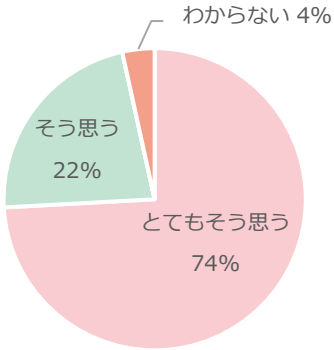
「意欲のあるいきいきした子ども」を達成している



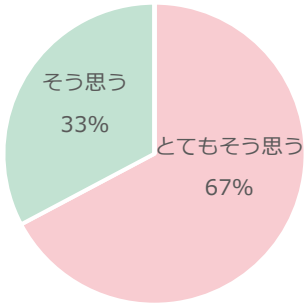
「自分で考え行動できる子ども」を達成している



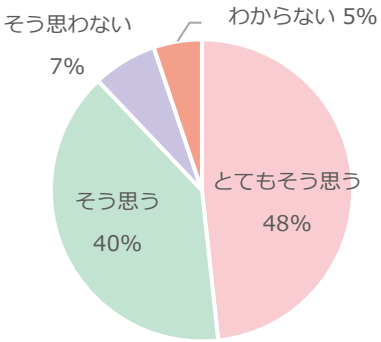
保育所は、子どもの遊びや生活の充実に努めている。



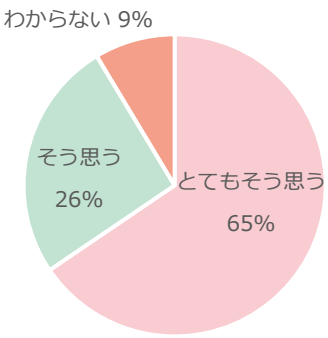
保育所は、子どもがいろいろな体験ができる活動を計画的に取り入れている。



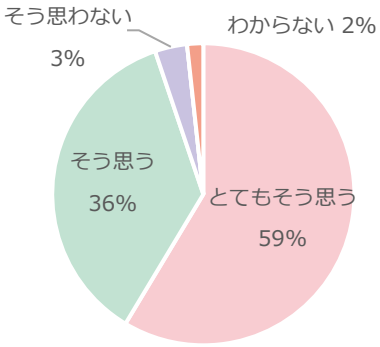
保育所は、一人一人の子どもを理解し、長所を伸ばす指導をしている。



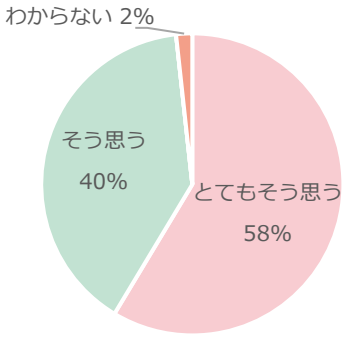
保育士は、子どもとよく遊び、どの子も公平に可愛がっている。



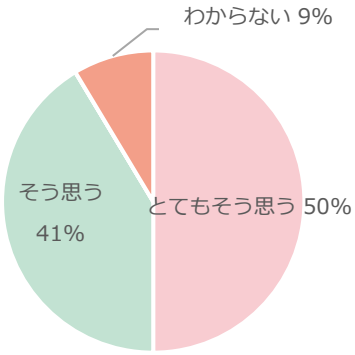
保育士は、子どものことについて親身になって相談に応じてくれる。



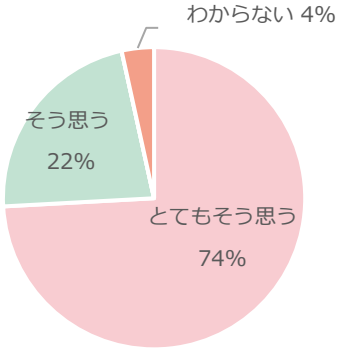
保育所は、体力や気力など健康な心身を育てる保育を適切に行っている。



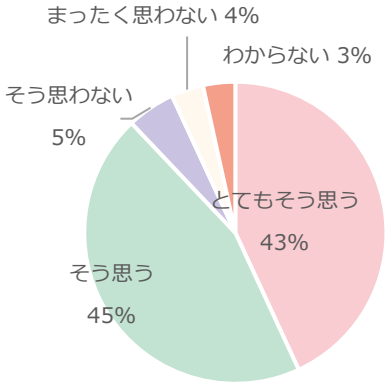
保育所は、思いやり・善悪の判断など、道徳性を育む指導を適切にしている



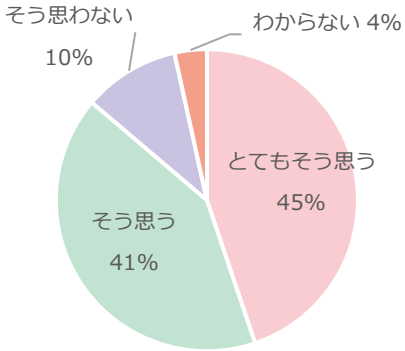
保育所は、集団生活のルールや基本的な生活習慣の指導を、適切に行っている。



保育所は、保育方針や保育内容を保護者に分かりやすく説明している。



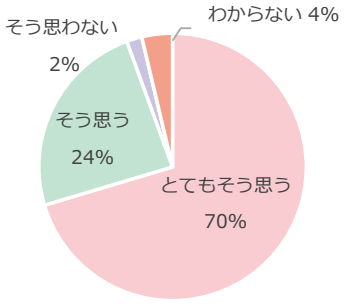
保育所は、保護者の意見をよく聞いて、親切に応えてくれる。



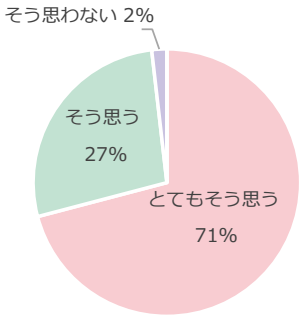
Ⅰ　保育・教育活動について

2.特色ある保育活動・環境の工夫等について

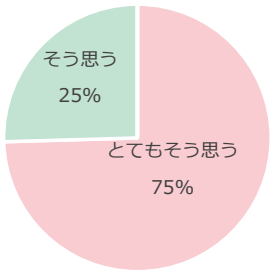
子どもたちは絵画制作、鬼遊び、リズム表現等を楽しみ、豊かに表現している



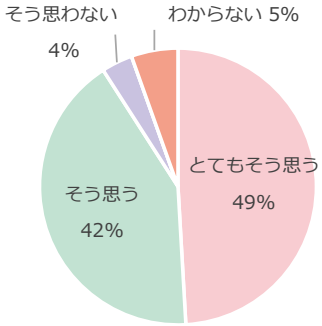
保育室に子どもの作品が飾られることが多く、見るのを楽しみに



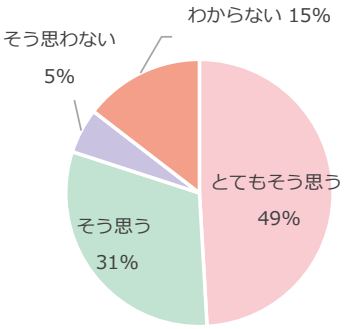
運動遊びが多く取り入れられており、子どもたちがいろいろな運動をして体を十分動かすようになった。



子どもが遊びやすい環境を整え、安全に対する配慮がされ、よく工夫されている。

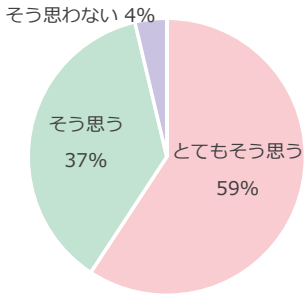


クラスの絵本コーナーが充実し、家庭でも絵本に触れる機会が増え、子どもの言葉が豊かになった。

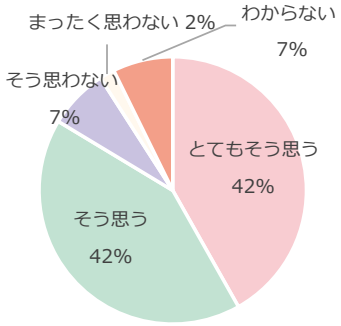


Ⅱ　保育所からの情報提供について

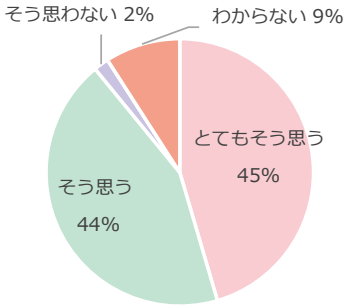
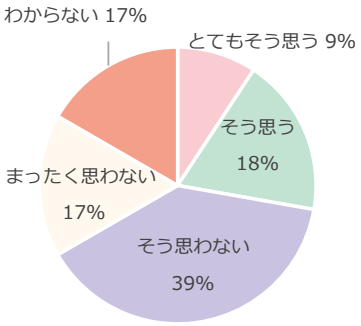
クラスだよりで、子どもたちの様子や行事の内容がよく分かり、楽しみにしている。



2月の保護者会で、保育士や他の保護者の話を聞き参考になった。



遠足代金・集金のお知らせや会計報告等は、分かりやすく適当であると思う。



ホームページはよく見ている。